

# きぼう

明石市立大久保北中学校 第1学年  
学年通信 第52号  
平成30年9月28日(金)

忍耐とは希望を持つ技術である。

学校ホームページ URL : [http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr\\_okbn/](http://scwww.edi.akashi.hyogo.jp/~jr_okbn/)

## 初めての体育大会を振り返って

～ 体育大会あれこれ・みんなの作文よりPart⑥ ～

### ◆『1位！優勝！』

今日、中学校に入学して初めての体育大会で、とても緊張しました。行進の練習の時は厳しく言われ、何回も練習しました。その練習のおかげで行進は今まで一番きれいな



行進だと思いました。行進賞はとれなかったけれど、とても頑張ったと思います。私はスウェーデンリレーのアンカーで、予想していたよりもとてもしんどかったです。でも、友だちや先生が応援してくれたので、とてもうれしかったです。スウェーデンで5位だったから、1組に負けてしまうと思ったけれど、クラスみんなが一致団結してがんばったから優勝できてたと思いました。

### ◆『一致団結した体育大会』

体育大会が終わった。見事自分のクラスはいくつかの競技で表彰状をとることができました。それには自分だけではなく、クラス全員が一致団結し、協力したからこそとれたものだという思いがある。綱引きではクラス全員が声をだし、全力で勝ち抜き、リレーでも学級席からの応援で勇気が出たという走者もいたと思う。また、ムカデ競争では必死にみんなで練習をして、たくさんの場面で勝ち負け関係なくみんな



で励まし合うことができた。このような思いやりの心があってこそ優勝へ一歩近づけるのだと思う。負けたとしても、思いやりの心があれば見事優勝になる。こういう思いを胸に体育大会を自分はやりきった。病気で競技に出られなかったものの、自分のできる応援を精一杯やったので、どちらにせよ達成感でいっぱいになったと思う。先生と友達、クラス全員が一致団結したことで最高の体育大会にできたと思う。

### ◆『最後まであきらめない体育大会』

1年6組は総合優勝できました。それはあきらめない気持ちがあったからだと思います。学年競技のムカデ競争では前と後ろでスピードと歩幅が合わず、練習の時あきらめそうになったけれど一生懸命に取り組みました。本番は残念ながら1位にはなれなかったけれど、あきらめずに取り組むことができました。綱引きでは相手のクラスが強かったけれど、あきらめずに綱を引き続けました。本番は全員が本気で取り組み、団結できたので良かったです。スローガンの「君色に咲け！笑顔満開の勝利の花」にもある笑顔がたくさん見られました。入場行進、学年種目、綱引き、マスゲームなど全力で取り組むことができました。練習時間も少なかった今年の体育大会は思い出に残る体育大会になったと思います。

### ◆『最初で最後の体育大会』

今年の1年6組とする体育大会はとていい思い出、一生忘れられない体育大会になりました。うれしかったこと、悔しかったこと、それぞれ1つずつあります。まずうれしかったことは、みんなで一致団結してみんなの力でトロフィーを手に入れたことです。ムカデ競争では今までしてきた練習の中で1番速く進めていて、最初は4組よりも速くて1年6組の力はすごいものなんだと思いました。次に綱引きはみんなで協力し、心を一つにして優勝することができました。「8勝0敗」という結果を残せて、とても嬉しかったです。マスゲームでは、今まで一番笑顔で踊れたし間違えずに踊ることができました。リレーでは全力で走り前の人のリードがあったのもあり、ペアの子と協力して1位でゴールテープをきるすることができました。入場行進では今までよりもかっこよく行進できていたと思います。私はこの体育大会を1年6組のメンバーでやりきれて、とても嬉しかったです。一生忘れられない体育大会になりました。

